

2

ごみのしゅり と活用

気づく

家ではごみをどのように出し、どのように収集されるのか調べてみましょう。

ごみの種類	月	火	水	木	金	土	日	量
生ごみ	○	○	○	○	○	○	○	
紙くず	○	○	○	○	○	○	○	
トレー	○	○			○		○	7まい
プラスチック	○	○	○	○	○	○	○	
空きびん		○				○		2本
空きかん				○		○	○	8本
牛乳パック	○				○		○	
新聞・広告	○	○		○	○	○	○	
ぬの				○			○	
その他		われたお皿				電池2本	く	

↑ 1週間のごみ調べ(5人家族)

見方・考え方のポイント

どうして、ごみを分けて出すのか考えてみよう。

分別

ごみを種類ごとに分けて出すこと。

ごみ調べ

わたしたちの家からは、毎日、どんなごみがどれくらい出ているのでしょうか。自分たちの家から出るごみの量と種類を、1週間にわたって調べてみましょう。

また、家から出たごみはどうしているのでしょうか。「草津市ごみカレンダー」を見てみると、ごみの種類の分け方や、出し方、出す日など、ごみについてきまりがあることに気がつきました。

ごみの分別

草津市では、ごみを種類別に集める分別収集をしています。2011(平成23)年からは、焼却ごみ類やプラスチック製容器類など11種類に分けて集めています。それまでは10種類の分別収集でしたが、できるだけリサイクルしやすくするために変こうされました。

そ大ごみは、クリーンセンターに連らく

して、家まで取りに来てもらうこともできます。

焼却ごみ類	プラスチック製容器類	ペットボトル類	空き缶類	飲・食料用ガラスびん類	破砕ごみ類	陶器・ガラス類	古紙類
指定袋	指定袋	指定袋	コンテナ	コンテナ	指定袋なし	指定袋なし	ひもでくくる
毎週火・金曜日	第1・3・5水曜日	第4月曜日	第3木曜日	第3月曜日	第1月曜日	第2木曜日	第2月曜日
第1木曜日	第4木曜日	毎月第1・3月曜日 収集日7日前の月曜日までに要予約(土日祝日の場合はその前日までに) ※年末年始は収集日に変更あり					
インターネット受付 http://s-kantan.com/kankyo-kusatsu-u/							
専用ダイヤル TEL.(077)561-2300 受付時間 :午前8時30分~午後5時15分(土・日・祝日・年末年始を除く)							

↑ A地区のごみカレンダー

ごみの収集

各家庭からでるごみは、ごみ集積所に出します。ごみ集積所は、市内に約2200か所あり、ごみ収集車で集めています。

ほかにも、草津市ではごみの不法投棄をふせぐためのパトロールをしたり、ごみの分別が正しく行われていないところには、ごみ集積所でごみの出し方の指どうをしたりすることもあります。

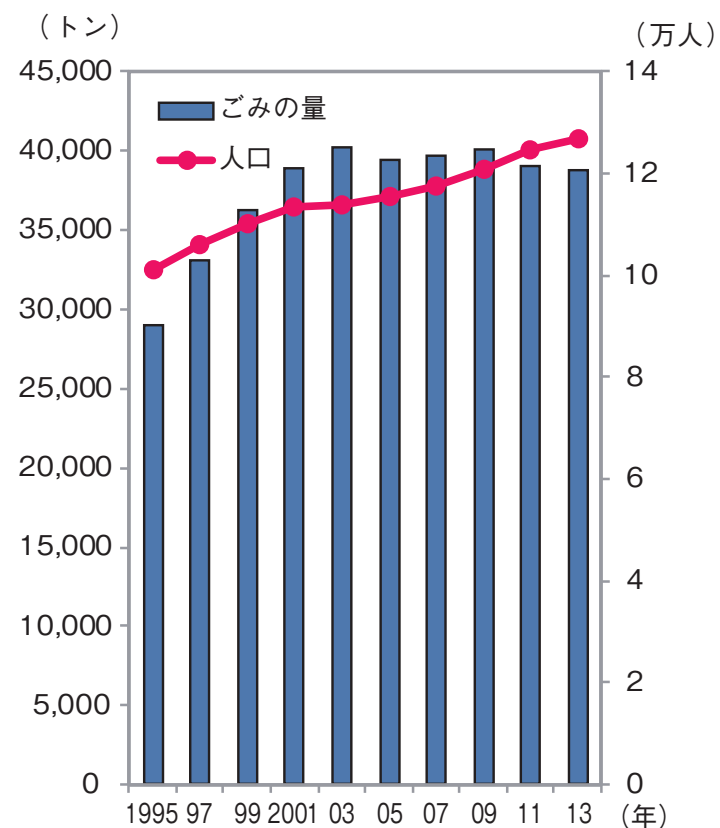
ごみ収集に来た人の話



ふくろが整頓しておいてあり、しっかりと口がしばってあると、早く車に積みめて助かります。たくさんのごみ集積所をまわるので、決められた時こくまでにごみを出してほしいです。また、決められた日にごみを出してください。

分別をきちんとしていないと、しげんになりません。ペットボトルやびんはキャップをはずして、水あらいをしてください。

ガラスやとがったもので、手を切ったことがあるので、ふくろに「きけん」と書いておいてほしいです。



↑1年間に出るごみの量と人口のうつり変わり
 <草津市立クリーンセンター統計>



↑ごみ集積所



↑ごみ収集車



↑ポイ捨てパトロール

クリーンセンターの見学

集められたごみは、クリーンセンターへ運ばれてきます。クリーンセンターには、ごみを集めたごみ収集車しゅうしゅうが、次々として入ってきます。また、クリーンセンターの中には、いろいろな機械きかいがあり、その様子を中央制御室せいぎょでかんししています。働く人はたらはどのように仕事をしているのでしょうか。

調べる

クリーンセンターでは、どのようにごみをしよりにしているのでしょうか。

また、働いている人は、どのような努力や工夫をしているのでしょうか。

見学カード(例)

聞いてくること

- 1日にどのくらいのごみが出るのですか。

(予想) しょうきゃくごみ1日 kg

(実際) しょうきゃくごみ1日 kg

- 1日に何台の収集車が来るのですか。

(予想) 台

(実際) 台

- 何人の人が働いているのですか。

(予想) 人

(実際) 人

- みんなに気をつけてほしいことはありますか。

(予想) _____

(実際) _____



↑クリーンセンター



↑中央制御室



↑プラットホーム



↑びん手選別コンベヤ



↑ペットボトル圧縮梱包品貯留ヤード

草津市では、1日に出たごみの量は、約102トン（2016年度）です。これらのごみのしよりにには、約330万円ものお金がかかっています。

ごみをへらすための工夫

ごみをへらすために、草津市のごみしよりはどのように^か変わってきたのでしょうか。調べてみると、2001（平成13）年に、紙のごみぶくろから、半とう明のふくろに変わったのは、市民一人ひとりに、しっかりと^{ぶんべつ}分別をしてごみを出してもらうためだそうです。

また、ごみをへらす工夫の一つとして、リサイクルなどの取り組みが必要になってきました。クリーンセンターでは、以前はプラスチックごみをとがして、プランターなどにつくりかえていました。これは、草津市が全国で一番はじめに行ったことでした。しかし、リサイクルにも、たくさんのお金がかかります。そこで、最近では、「4^{アール}R」という取り組みを進めています。

ごみをへらすために、わたしたちにできることを話し合おう。

表現する

ごみのしよりについてわかったことや気づいたことをまとめ、発表しましょう。

調べる

ごみをへらすための取り組みには、どのようなものがあるのでしょうか。



リサイクルフェア



4 R

Refuse (リフューズ)

いらないものはことわること。

Reduce (リデュース)

ごみをできるだけ出さないようにする。

Reuse (リユース)

使える物は、できるだけ繰り返し使う。

Recycle (リサイクル)

ふたたびしげんとして利用する。

いかす

ごみをへらすために、話し合ったことを実行しましょう。